

〈令和7年度 第2回公開講座 アンケート結果〉

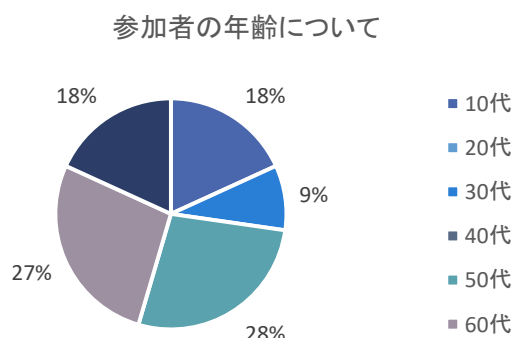
日 時: 令和7年8月29日(金) 18:00~19:00  
 テーマ: 「形成外科って美容の科じゃないの?」  
 ~実は生活を支える“縁の下の力持ち”~  
 講 師: 渡邊 理子(秋田赤十字病院 形成外科部長)

参加者	17名
回答数	11件
回答率	64.7%

※参加者のうち、3名はオンライン参加者。アンケート回答者はすべて対面参加者

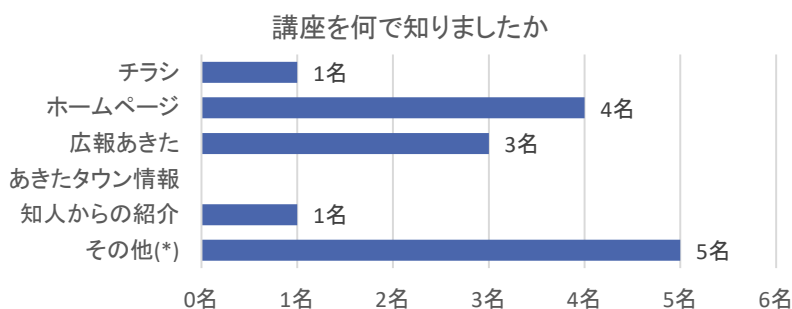
1. あなたの年齢(年代)について伺います。

	人数	割合
10代	2名	18.2%
20代		0.0%
30代	1名	9.1%
40代		0.0%
50代	3名	27.3%
60代	3名	27.3%
70代以上	2名	18.2%



2. 今回の公開講座を何で知りましたか(複数回答可)。

	人数	割合
チラシ	1名	7.1%
ホームページ	4名	28.6%
広報あきた	3名	21.4%
あきたタウン情報		0.0%
知人からの紹介	1名	7.1%
その他(*)	5名	35.7%



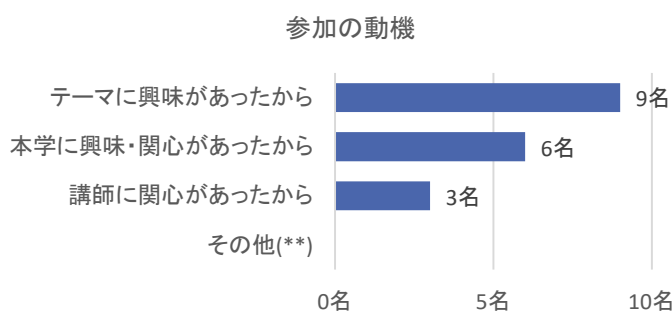
\*本学のメール(3)・担任の先生から聞いた(2)

2で「チラシ」とご回答の方、チラシはどこにありましたか？

・さきがけ新聞

3. 公開講座への参加の動機を教えてください(複数回答可)。

	人数	割合
テーマに興味があったから	9名	50%
本学に興味・関心があったから	6名	33%
講師に関心があったから	3名	17%
その他(**)		0%



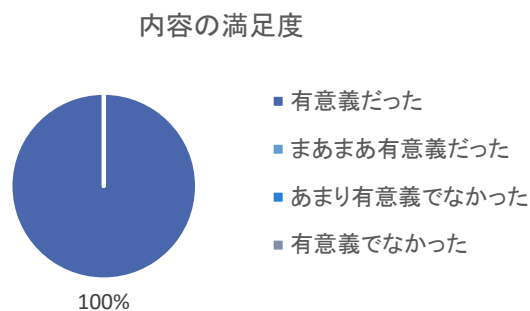
\*\*知人の強い紹介

4. 今回の講座についてお伺いします。

1) 内容はいかがでしたか。

	人数	割合
有意義だった	11名	100.0%
まあまあ有意義だった		0.0%
あまり有意義でなかった		0.0%
有意義でなかった		0.0%

※未回答(1): 以下の2)に回答あり。



2) 上記のように感じた理由をお聞かせください。

- 日々、熊の恐怖におびえているが、ここまで傷がきれいになるので安心しました。
- いろいろな知識を得ることができました。
- 治療までの時間などもわかった。  
形成外科のしきいが低くなったような気がした。
- 整形外科とは何時受診するのか、よくわからなかったが、様々な場面で、活かされていることがわかりました。  
ありがとうございました。
- どのようにキズが治っていったのが実際の写真から理解することができた。  
患者さんの心のキズもいえるのではないかと考えさせられました。
- 形成外科はチャラチャラした診療科かと思っていたが、患者の生活の質の回復にとっても大きな役割を果たしていることが分かった。  
講師が秋田に戻って治療に当たっている理由にも感動した。頑張ってください。  
(プロジェクターの試写をよろしくお願いします。)  
貴重な資料(写真等)を見せていただき、とても参考になりました。わかりやすい説明でした。
- 詳しく形成外科について知ることができたから。
- 状況に合った移しよくをしたり、傷が残らないように工夫しているところが、すごいなと思いました。
- 先天異常、熊外傷、熱傷 瘢痕拘縮等、形成外科の大切さ意義を感じました。
- OP室勤務時代は、術後の状況を知ることが少なかったので今回スライドをみて、こんなに美しく治っている事に感激しました。ほんとに、形成外科は、なくてはならない貴重な科だと思いますので  
先生これからがんばって下さい 乱筆ですみません

5. 本学の公開講座について、開催日時についてご希望はございますか？  
また、講座の時間は長かったですか？短かったですか？

- ちょうどよい
- 今の時間が出席しやすかった。
- ちょうどよかったです。
- 途中の中断の影響もあったと思うが、終わりの時間はもう少し早くしても良かったかなと思う。
- 講座の開催日を早めに決めてもらいたいです。  
(休みを取る関係もあるので...)
- よろしくお願ひします。
- とくになし。  
ちょうどいい時間だった
- ちょうど良かったです。

6. 今後受けてみたい講座の内容を教えてください。

- 看護 4件
- 医療 6件
- 介護 1件
- 防災・減災 6件
- 赤十字 1件

7. 本学の公開講座について、ご感想やご要望がありましたらご記入ください。

- スクリーンの文字バケがちょっと残念でした。  
内容は充分よかったです
- とても理解しやすく、良かった。  
もし助言出来る場合は、今知った事を伝えて、判断材料になってもらえばと思う。
- 場所がわかりにくくて、困りました。  
今後も公開講座を受けてみたいと思いますので、回数を増やしてほしいと思います
- 防災ボランティア養成講座(研修)を年1回で良いのでは是非とも開催して下さるよう切に要望いたします。  
隣県では、宮城、岩手、栃木等が定期的を実施しているようですが、我が秋田県でも残念ながらそれには至っておりません。(日赤各支部が主体とは思いますが)  
152講義室の売店を防災等の展示にしたのは良いと思いますが、少し「やるせなさ」を感じてしまいます。  
日本海中部地震や豪雨災害など、悲惨な災害が後をたちません。  
県民が一丸となってそれに立ち向かうためにもボランティアを一人でも多く養成することが急務です。  
何とぞよろしく願い申し上げます。 (矢尾 崇)
- 大変楽しかったです お疲れ様でした